

県と市町村の連携・協働による「奈良モデル」を推進します。

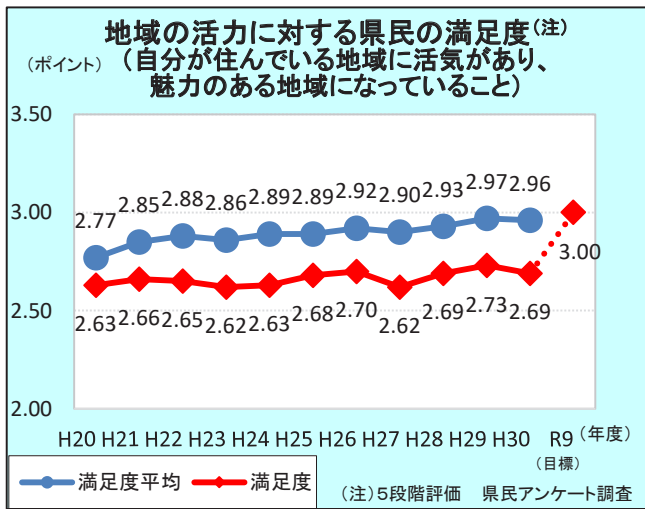
「奈良モデル」に基づく市町村との協働まちづくり、市町村支援による行政効率化

目指す姿

令和9(2027)年度までに、県民アンケート調査における地域の活力に対する県民の満足度(自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること)を3.00ポイントに向上させます。

主担当部局(長)名
地域振興部長 山下 保典

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況



指標	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	2.63	↑	2.69	16.2%	3.00
進捗状況	H20 (2008)	0.06 ポイント	H30 (2018)	10 年目 19	R9 (2027)

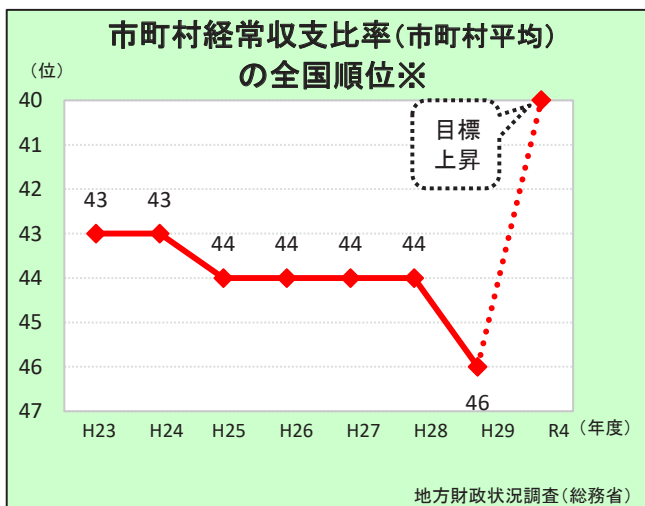
地域の活力に対する県民の満足度(自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること)(ポイント)

市町村同士または県と市町村の連携・協働により、地域活力の維持・向上を目指す「奈良モデル」等に取り組んだことから、満足度に向上が見られます。しかしながら、平成30年度の地域の活力に対する県民の満足度は2.69ポイントで、満足度平均の2.96ポイントに比べると、まだまだ低調に推移している状況です。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略 「奈良モデル」に基づく市町村支援により、行政効率化を推進します。

主担当課(長)名
市町村振興課長 堀辺 王太郎



指標	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	44	↓	46	順位を2 下げました	R4に (2022) 上昇
進捗状況	H28 (2016)		H29 (2017)	1 年目 6	

市町村経常収支比率(市町村平均)の全国順位※(位)

財政健全化の取組や適正な職員数について助言を行うなど、県内市町村の行財政改革の推進等に対する支援に取り組みましたが、平成29年度の市町村経常収支比率(市町村平均)は、地方税や株式等譲渡所得割交付金等は増加したものの、それ以上に扶助費や補助費等が増加したこと等により、全国順位は46位に下がりました。

主な成果

平成30年度には奈良県・市町村長サミットを4回開催し、市町村の共通課題について議論・情報共有するなど行政効率化を進めました。